



つがる市議会だより

令和元年 第3回(12月)定例会 第64号 令和2年2月発行
の内容をお伝えします



つがる物語

一本タモ
(稲垣地区)

弘前藩政期の新田開発の際、広大な湿原地帯に立つ一本タモ（ヤチダモ）は地域の目印になったと言われています。また、ヤチダモの特徴である幹のこぶは一見婦人の乳房に似ていることから、いつの頃からか子孫繁栄のシンボルである乳の神として信仰を集めてきました。

日本最大級で樹齢千年とされている一本タモは、地域の人々が長い間大切にしてきたつがるの宝です。

目次

- 2～3 定例会の概要
- 4～6 一般質問6議員が市政を問う
- 7 予算特別委員会の概要
- 8～9 総務常任委員会レポート
- 10 教育民生常任委員会レポート
- 11 経済建設常任委員会レポート
- 12 要望活動
- 13 小学生が傍聴
- 14 気になるワード

12月定例会の議決結果は以下のようになりました。
(12月2日～12月12日) 11日間

◎は全会一致

番号	件名	審議結果	議決結果
市長提出議案			
予算	55号 令和元年度つがる市一般会計補正予算(第5号)案	◎	可決
	56号 令和元年度つがる市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)案	◎	可決
	57号 令和元年度つがる市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)案	◎	可決
	58号 令和元年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)案	◎	可決
	59号 令和元年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)案	◎	可決
	60号 令和元年度つがる市介護保険特別会計補正予算(第3号)案	◎	可決
条例	61号 つがる市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	◎	可決
	62号 つがる市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案	◎	可決
	63号 つがる市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	◎	可決
	64号 つがる市職員等の旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	◎	可決
	65号 つがる市下水道事業の設置等に関する条例案	◎	可決
	66号 つがる市公共下水道条例等の一部を改正する条例案	◎	可決
指定管理	67号 つがる市公の施設に係る指定管理者の指定の件 (つがる市木造農村環境改善センター)	◎	可決
その他	68号 木造新田地域5町村新市建設計画の一部変更の件	◎	可決
予算	69号 令和元年度つがる市一般会計補正予算(第6号)案	◎	可決
指定管理	70号 つがる市公の施設に係る指定管理者の指定の件 (つがる市ひなた児童会館、つがる市木造地域子育て支援センター)	◎	可決
その他	71号 西北五広域福祉事務組合の共同処理する事務の変更及び西北五広域福祉事務組合規約の変更について	◎	可決
人事	72号 つがる市教育委員会委員の任命につき同意を求めるの件	◎	同意
請願			
請願	1号 市道の側溝設置に関する請願書	◎	採択

提出された議案をピックアップ

議案第65号

つがる市下水道事業の設置等に関する条例案

1

公共下水道事業および農業集落排水事業は、 公営企業会計に移行されます

令和2年4月1日施行

◇地方公共団体の財政状況は年々厳しさを増しており、下水道事業も施設の老朽化や人口減少による料金収入の減少等により、経営環境は厳しくなっています。これを踏まえ、安定かつ継続的な住民サービスを提供するため、財政状況を明らかにして取り組みを進める必要があります。

総務省では下水道事業を地方公営企業法適用へ移行することを推進しており、公営企業会計を適用して自らの経営状況を正確に把握し、**経営基盤の強化と財政マネジメントの向上**に取り組むため、提案するものです。

期待される効果

- ① 損益情報・ストック（資産）情報の把握による適切な経営戦略の策定
- ② 企業間での経営状況の比較が可能
- ③ 経営の自由度向上による経営の効率化とサービスの向上
- ④ 住民や議会による監視機能の向上
- ⑤ 企業会計に精通し経営者意識を持った人材の育成

こんな質問が出ました

問 条例中にある負担付きの寄附とはどのようなものか。

答 寄附者が施設を建設するためなどの条件を付けて土地等の寄附をするもの。

【補足】なお、建設しなかった場合には返還してほしいなどの条件を付して寄附した後、条件を守らなかった場合、市側に返還の義務（負担）が発生するものをいいます。

議案第66号

つがる市公共下水道条例等の一部を改正する条例案
◇公営企業会計法の財務規定等の適用にあたり、所要の改正をするほか、関連する条例の表記、文言等の変更をするものです。

こんな質問が出ました

問 どのような会計になるのか。

答 現金主義の単式簿記から発生主義の複式簿記になる。

単式簿記・複式簿記とは

単式簿記	複式簿記
おもに現金の収入・支出を管理。 (家計簿と同じ)	資産・負債の増減と収益・費用の発生を分けて管理。検証機能を有する。 (民間企業に近い会計処理)

人事案件

議案第72号

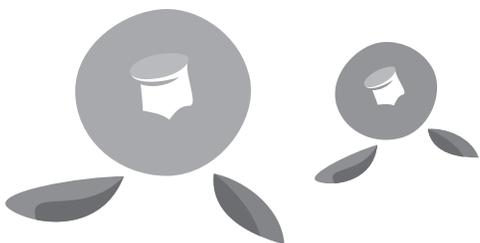
◎つがる市教育委員会委員

次の方を任命することに同意しました。

佐藤 勢津子さん（新任・森田）

任期 令和元年12月13日から

令和4年3月30日まで



一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



なりた かつこ
成田 克子
いつわかい 五和会

問 妊娠から出産、子育て期まで切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センターの設置が2020年度末までの努力義務となっており、県内10市のうち本市のみ、設置が未定となっているが、今後、どのように推進していくのか。

答 市では、母子保健と子育て支援の両面で妊娠期から出産、子育て期において、それぞれの段階に対応した支援の充実を努めてきました。今後、さらに支援を強化するため、子育て世代包括支援センターを令和2年4月に開設します。主な機能として①妊産婦等の実情の把握 ②妊娠、出産、子育てに関する各種相談に応じた必要な情報提供、助言、保健指導 ③支援プランの策定 ④保健医療または福祉の関係機関との連絡調整 を考えており、基本的にはすべての妊産婦や乳幼児世帯を対象にアプローチし、より専門的な視点が必要とする対象者については保健師や専門機関との連携を図りながら一人ひとりを大切にした支援体制を構築したいと考えています。

問 子育て世代包括支援センターを

- 子育て支援のための拠点整備をしては
- 防犯カメラの設置状況は

市民健康づくりセンター内に設置して、こども育成課など分かりやすいネーミングにしてはどうか。

答 当面は利用者の利便性を重視し、庁舎内の健康推進課への併設を考えていますが、利用者の意見や事業効果などを常に検証するほか、ネーミングについても重要な検討課題として認識し、利用者目線の子育ての拠点にしていきたいと考えています。

問 物騒な事件が多発しており、通学路や生活圏への防犯カメラの設置は犯罪の抑止力にもつながると考えている。本市の防犯カメラの設置状況と今後の予定は。

答 市が管理する公共施設への防犯カメラは、小中学校に7カ所、木造駅構内に1カ所、市が管理する公園に2カ所、駅前駐車場に1カ所、道路交差点に4カ所の合計で15カ所に設置しており、令和2年度においては数カ所の設置を見込んでいます。さらに、関係機関と協議しながら市民の安全や犯罪の抑止のために必要な箇所には随時設置して、防犯対策の充実と強化を図っていききたいと考えています。



なせがわえいこ
長谷川 榮子
いつわかい 五和会

問 永岡集落付近に大きな3本のケヤキの木があり、道路内に張り出してきているため、車が交差できず、交通に支障をきたしているが、これまで事故などの発生状況は。

答 県道再賀木造線の永岡集落入り口付近にはお堂とケヤキの木があり、ケヤキの木によって道幅が急激に狭まっているため防雪柵が設置できず、冬期間は危険な箇所と認識しています。人がはなかつたようですが、昨年度病院バスが吹き溜まりで立ち往生した事案などがあつたと聞いています。

問 木を伐採して道路を改良できないか。

答 これまで青森県に対し、道路工事の要望をしましたが、一部集落の反対や境内の樹木を伐採する業者等がないことで、工事の見通しが立っていない状況にありました。しかし、今回、地権者の了承を得られ、樹木伐採業者も市内に見つかったため、県に対し、工事等について強く要望していきたいと考えています。

- 再賀木造線の改良工事は
- 丸山・蓮花田線への防雪柵設置工事の状況は

問 丸山蓮花田線への防雪柵設置工事の進捗状況は。

答 防雪柵設置工事については、今年度から令和5年度まで計画しており、今年度は地質調査、計画設計および257.6mの設置工事を予定しています。今年度の工事については年内に契約を行い、年度内の工期を予定しています。

問 この区間については過去にも質問しており、防雪柵の設置は地域住民も熱望している区間であるため、早期に実施できないか。

答 できる限り早急に対処します。



再賀木造線

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



ささき けいぞう 佐々木 敬藏
いつわかい 五和会

● 廃校舎をさらに活用しては
● TPPによって想定される
米価への影響は

問 廃校となった小中学校は何校あるのか。また、統廃合の予定はあるか。
答 解体済の校舎や市内業者に売却済みの校舎を除き、廃校となった校舎は15校となっています。なお、統廃合の予定は現在ありません。

問 旧稲垣西小学校では、わら芸づくり、レクリエーションを通じた交流事業など多彩に活用されているが、ほかの廃校舎はどのような活用しているか。
答 閉校となった校舎10校が活用されており、市の文化財収蔵庫や資料保管庫、屋内運動場、電子部品製造、建設企業、木炭製造、地元財産区の利用のほか、児童クラブ、NPO法人および地元文化団体にも利用されています。そのほか、活用していない廃校舎については関係機関と連携を図り、さらなる活用につなげたいと思います。

問 TPP（環太平洋連携協定）による米価下落が予想されるが、米農家への影響は。
答 TPPは、平成30年12月に発効

され、米についてはWTO（世界貿易機関）枠として加工用や飼料用等に活用する77万トンの一般輸入を維持したほか、国別枠として3年間は5.6万トン、13年目には7.8万トンの輸入枠が設定されています。国はこの国別枠の輸入量に相当する国産米を政府備蓄米として買い入れるため、主食用米のこれまでの生産量や農家所得に影響はないと判断しています。また、青森県の試算から想定しても農家への影響はないと考えています。

問 想定範囲を超える米価の下落が起った場合の対応は。
答 米価の下落があったときは、収入保険のほか、収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）の制度があります。収入保険では青色申告の実績、ナラシ対策では認定農業者であることが必須条件となっています。市としては、どちらかの制度に加入できるようにしていただきたいと思います。



いとう りょうじ 伊藤 良二
いつわかい 五和会

● 新年度予算の基本方針は
● アンテナショップの現況は
● 総合体育館建設計画の進捗は
ほか

問 令和2年度一般会計予算の重点事項は何か。
答 市では人口減少・少子高齢化対策に加え、主たる産業である農業振興、人材育成につながる教育の充実を重点事項とし、予算編成に取り組んでいるところです。

問 アンテナショップの現況と委託契約内容は。
答 アンテナショップの売り上げ実績は、オープンした7月が306万円、8月360万円、9月230万円、10月150万円、11月140万円となっています。委託契約の内容については店舗の運営やメロンスイーツの製造、オペレーションなど専門性の高い業務を行うため、選抜した業者へ業務委託しているところです。人件費や消耗品、食材購入等を含め委託料は1485万円となっています。

問 つがる市総合体育館計画の進捗状況は。
答 （仮称）つがる市総合体育館について、工事実施設計業務委託をRA B開発株式会社と4月に契約を締結し、

令和2年6月末までの履行期間で作業に取りかかっています。近況としては基礎工法の選定や外構整備の進め方など慎重に調整を進めているほか、館内のイメージ3次元画像も作成中です。今年度中には、おおよその実施設計額が算出できるよう努力したいと考えています。

問 予算規模を縮小できないか。
答 来年の5、6月頃には実施計画が出来上がると見込んでいるので、もう少し現況を見ながら進めていきたいと考えています。

問 冬期間、小中学校の通学路は確保できているか。
答 向陽小学校と木造中学校グラウンド西側に接した南北に通じる道路の状況について、歩道側に比較的雪が多い状況が見受けられるとのことで、教育委員会としては児童生徒の通学路は確保したいと思っております。どのような除雪の方法があるかなど担当部署と相談しながら、通学路の確保に努めたいと考えています。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



斎藤 渡
さいとう わたる
ましんかい 絆心会

●市の防災管理体制は

問 今年の台風による水害では、各自治体で作成されているハザードマップの正確性が立証されたところであったが、つがる市の防災計画において、広範囲にわたる水害が発生した場合の災害対策本部の設置基準は。

答 市の地域防災計画では災害が広域にわたって発生した場合や市内に相当規模の災害が発生する恐れがある場合等に災害対策本部を設置します。本市の全庁にわたる部局、消防本部および水道企業団西北事業部で組織し、さらには、航空自衛隊車力分屯基地からも参加いただき、災害への対応をすることになっています。

問 食料や水、そのほか物資の備蓄状況はどのようになっているか。

答 災害時の支援物資について、毛布1000枚、ペットボトルの水2000人分程度を備蓄しています。また、食料品および生活物資については、「災害時における相互協力に関する協定」を締結している企業から確保する予定です。また、発電機、投光器については避難施設である小中学校、公民館な

ど24力所に配備しています。なお、災害時に避難施設の拠点となる（仮称）つがる市総合体育館に隣接して防災備蓄倉庫および防災ヘリポートを令和2年度より整備する計画です。この倉庫には5000人の避難者に対応できる飲食物、簡易トイレ、寝具、段ボールベッド等を備蓄し住民に対する災害時の支援、救助体制の大幅な強化を図りたいと考えています。

問 被災時の除去した障害物や水没した家財などの廃棄物の集積および処理方法は。

答 大規模災害が発生した場合、土砂や樹木、家具など様々な廃棄物を撤去することになりますが、一時的な集積所のほか、それらをまとめる2次集積所の確保が必要となります。現状では、廃校舎や避難所になっていない学校の敷地等の確保を想定していますが、処理場の処理能力を超えた廃棄物が予想されるため、国や県に対する支援の要請や周辺自治体との協力体制の構築など、災害時の相互協力体制の整備を図りたいと考えています。



斎藤 渡
さいとう わたる
ましんかい 絆心会

●風力発電施設設置における 縄文遺跡群と 周辺整備の取り組みは

問 風力発電施設が完工間近のようだが、これまでの経緯は。

答 災害時のエネルギー供給の脆せい（弱性）、エネルギー政策の見直し等のほか、固定価格買取制度の創設や農山漁村再生可能エネルギー法の施行により、全国的に再生可能エネルギーの導入が加速するきっかけとなりました。市ではその重要性から平成27年2月、再生可能エネルギー促進による農山漁村活性化協議会を設立し、地域の活性化および持続的発展を図るため、風力発電事業を推進することとしています。

問 農山漁村再生可能エネルギー法の目的の一つに売電収益の一部を地域へ還元するところがあるが、具体的な金額は。

答 農林漁業の健全な発展に資する取り組みとして発電事業者から売電収益の一部を基金化し、地域の農林水産業へ寄与する事業に活用することとしており、市に対する資金協力は20年間で22億円となっています。しかし、具体的な活用方法については今後協議していきたいと考えています。

問 風力発電施設が設置されている館岡地区では工事車両が増えることで交通規制など生活への影響もあるため、地区に対して何らかの優遇はできないか。

答 市としては風力発電施設のある地域、ない地域などの区分けは考えていません。

問 亀ヶ岡石器時代遺跡に隣接する縄文遺跡群のガイダンス施設の建設予定地は用地買収したのか。

答 今年度予定されていた敷地面積1万2065㎡の取得を完了していません。

問 農林漁業の健全な発展に資する取り組みとして、ガイダンス施設に隣接して地元農産物や加工品などを販売する産直施設を整備出来ないものか。

答 今後の長期計画の中で検討したいと考えています。

予算特別委員会

審査の内容をお伝えします



委員長

齊藤

渡

議案第55号
令和元年度つがる市一般会計
補正予算(第5号)案

子どものための教育・

保育給付費国庫負担金

3187万5千円

佐藤 孝志 委員

問 子どものための教育・保育給付費国庫負担金の増額に対し、県負担金が減額になっている理由は。

答 当初、給付費の負担割合は国が50%、県と市がそれぞれ25%であったが、国が55.2%、県と市が22.4%に改定となったため。

農地耕作条件改善事業補助金

340万6千円

木村 良博 委員

問 詳細な説明を。

答 暗渠排水整備事業が消費税率引き上げに伴い増額となったため、増税部分を農家に代わって負担する。

商工業総務費

負担金補助及び交付金

90万円

伊藤 良二 委員

問 詳細な説明を。

答 商工会の特産品販売開拓推進委員会において、令和2年1月に埼玉県和光市で開催されるニッポン全国鍋グランプリ2020に出店するための経費、2分の1を補助するもの。市の特産であるニンニクを使用した、つがるにんにく塩こうじ鍋の出店により、つがる市のPRにつながると考えている。



見事3位入賞を果たしたつがるにんにく塩こうじ鍋

農林業センサス費

△57万4千円

佐々木 直光 委員

問 農林業センサス費について、統計調査前にもかかわらず減額した理由は。

答 調査対象の農家数が減ったことにより、県からの委託金の内示額が減額されたため。

保育所総務費

2093万6千円

秋田谷 建幸 委員

問 この補正に係る児童数は。

答 市内には延長保育の対象児童が750人おり、一時保育の対象児童は250人程度いる。

問 保護者負担は軽減されるのか。

答 昨年度に比べて利用者が増加したことによる補正であり、保護者の負担に影響はない。

議案第60号

令和元年度つがる市介護保険特別会計補正予算(第3号)案

介護保険事業計画

ニーズ調査等委託料

335万5千円

問 詳細な説明を。

佐々木 敬藏 委員

答 令和3年度から令和5年度までの第8期介護保険事業計画策定に係る調査を委託するもの。介護予防・日常生活圏域のニーズ調査等を実施し、その結果を踏まえて事業計画を作成する。



本市に適した支援体制の構築が求められます

長谷川 榮子 委員

問 施設に入居している人数は。また、在宅で介護サービスを受けている人数は。

答 10月現在でグループホーム、特別養護老人ホーム等の利用者は948人で、居宅サービスの利用者は1085人いる。



【えびの市：地方再生計画「道の駅えびの」を拠点とした活力ある地域づくり計画について】

本市の「道の駅もりた」は地方創生事業により、産直施設および駐車場の拡張を行っており、計画値を上回る実績となっているが、農業の担い手不足問題や冬季間の品揃えなど課題がある。

道の駅えびのも地方創生事業により本市同様の整備を行っているが、単なる農業所得向上のための施設ではなく、地域コミュニティや教育、市民参加を担当している職員も道の駅発展のために取り組んでいる。

【主な取り組み】

- ① 経験豊富な高齢者（農家）から技術（農業、加工品、郷土料理）を学ぶ集落内勉強会
- ② 主に女性を対象に集落内で生涯学習教室（お菓子作り、お茶会）
- ③ 若手出荷者への相談会開催、事業の総合化、事業化等の計画策定支援、経営セミナー
- ④ 市内飲食店による商品開発の取り組みの模索
- ⑤ 道の駅を拠点とした自転車利活用推進計画（自転車ツーリズム）の策定

【道の駅整備の効果および特徴】

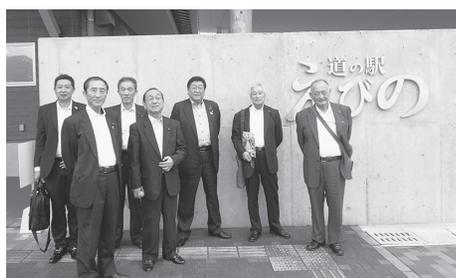
- ① 当該整備事業により、狭い売場および駐車場、処理能力が小さい合併浄化槽の解消
- ② 雇用の拡大（23人から27人へ）
- ③ 売場（農産物、精肉加工品、県内お土産）の拡大により品揃えがよくなり、来場者が25%増加、売上も開設当時より2億6千万円増加
- ④ 苗木等の屋外販売スペースを拡大、テラスの設置
- ⑤ 平日でも予約待ちとなる食堂で市内農畜産物を使用した1,000円（税別）バイキング



えびの市役所にて



えびの産特A米 ひのひかりを使用したバイキング



「道の駅えびの」にて

道の駅えびのは道の駅の発展、ひいては雇用の拡大、人口減少に少しでも歯止めがかかるよう横断的な取り組みを行っており、平日の来場者（700人）が多いのは市民生活に浸透した結果と考えられる。

これらのことにより農家所得もある程度向上していると考えますが、各分野の人材が関わりを持つことでコミュニティ、ネットワークの輪が広がり、市民の参加が図られて取り巻く事業等に好影響を及ぼすのではないかと感じました。

今回の視察地であるえびの市も参考にし、地理的条件等を踏まえながら地域活性化の拠点として発展させていくためにはどのような支援、整備、取り組みが必要か今後も検証を続けなければならないと考える。

先進自治体の事例を学ぶため、各常任委員会概要をお知らせいたします。

総務常任委員会

視察先：宮崎県西都市、宮崎県えびの市(10/23~10/25)

【西都市：コミュニティバスについて】

本市ではバス路線の一部廃止に伴い、廃止路線を接続し住民の足を確保するため、令和元年10月よりデマンド型タクシーの運行を開始した。利用者が少ない路線は予約制としているほか、フリー区間を設定し利便性の向上を図りながら試験運行しているところである。

西都市でも路線廃止等により平成24年（29年見直し）からコミュニティバスの運行を開始した。市町村間を結ぶ路線は民間であるが、その他の路線は地域内完結する運行形態であり、約9割の地域をカバーし残りの空白地にデマンド型タクシーを併用していることで毎年利用者が増加している。なお、費用対効果を考慮すると利用者が極小な地域においては、地域の協力やコミュニティ事業を検討しているとのこと。本市とは地形や集落の形成等により運行形態も異なるが、市としては今後、更に路線の廃止や補助金が増額となる可能性もあり、見直しの際に参考にすべきではないかと思われた。



西都市「このはな館」にて

【西都市：さいとくポイント制度について】

さいとくポイント制度チラシ

人口減少により地域コミュニティの希薄化、市行政事業への参加者や協力者の減少・固定化している状況下、本市では各種イベント等改善しながら継続的に実施し取り組んでいる。また、地域経済活性化の起爆剤になればと商品券の発行を年2回、健康寿命を延ばす機運を高めるため健康ポイント進呈事業も実施し徐々に効果を上げてきているが、西都市では本市と同様の取り組みに加え、行政事業への参加、ボランティア（お手伝い）に対しポイント（商店街ギフトと交換できる）を進呈、地域住民参加型の行政事業となるよう取り組んでいる。多数の市民参加、協力を得ることは事業での人手不足解消、地域コミュニティの拡大、経費節約および事業の目標達成（成功）につながると考え実施したもので、現在ではポイント利用者が4,000人を超え、ポイント進呈に協力する事業者やポイント利用メニューも増えて市民に浸透してきているとのこと。

このさいとくポイント制度を参考にし、財政事情を考慮したうえで、本市でも導入できるものがないか検討すべきではないかと思われる。

常任委員会の行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、各常任委員会が視察を行いました。その概要をお知らせいたします。

教育民生常任委員会 視察先：大阪府堺市、奈良県奈良市(11/5～11/7)

【堺市：子育て世代包括支援センターの取り組みについて】

堺市は、平成26年度厚生労働省の妊娠・出産包括支援モデル事業に参加した先進地であり、人口80万人超の政令指定都市であるにもかかわらず、きめ細かな取り組みを行っている。

子育て世代包括支援センターでは、妊娠届の段階で妊婦と面接し、妊婦一人ひとりに担当する保健師がいる。子育てアドバイザーや育児支援ヘルパーの派遣、心身のケアや育児アドバイスのため助産院への宿泊事業等もあり、まさにワンストップでの子育て支援をしている。支援には多くの部署・機関が関わり、連携していかなければならないが、当施設では部署や他機関との連携が取れていて情報共有もスムーズに行われていると感じた。

6月に行った所管事務調査の時点では、本市において子育て世代包括支援センター事業は具体的な計画はない状態であった。そのため、他市が次々と開設予定を発表していく中、子育て支援政策に危機感を覚えていたのだが、今回の視察後、12月定例会において当委員の質問に答える形で来年度の開設が発表されたことで、これからの展開も注視していきたい。また、10市の中で最後の発表であるため他の事業も見守りつつ、良いところは吸収し、子育て世代に優しいつがる市であって欲しいと願う。堺市では事業の開設にあたり、いかに人件費や設備に経費をかけずして機能させていか苦労したとのことであったが、既存の施設を利用して開設するつがる市のこれからの期待したい。

【奈良市：小中一貫教育の取り組みについて】



階段脇にすべり台のある校舎

人口減少・少子化対策の上で、教育環境の整備は重要であるほか、本市においては、閉校になる学校や空き教室の問題もあるため、全市で小中一貫教育を展開している奈良市を先進地として視察を行った。

当市の小中一貫教育は「古都奈良の文化財」のユネスコ世界遺産リストの登録をはじめとして、小中一貫教育特区に認定されたことによるもので、視察先の富雄第三小中学校は平成20年度に小中一貫教育モデル校に指定された1学年2～3クラスの小規模校である。また、9年間の連続した中、小学校1年生からの英語教育やICTを活用した教育、総合「なら」での世界遺産学習等の特色ある教育を行っている。落ち着いた環境の中、地域の連携もできており、校舎は地域の方も利用できる構造になっている。人間関係の固定化などの問題点はあるが、教職員は小中学校で協同し、職員室は一つなので情報共有ができ、*中一ギャップの解消など多くの利点がある。小中一貫教育は小学校の出口、中学校の入り口を単につなぐだけでなく、小学校入学から中学校卒業までの9年間でどのような子に育てていくかという共通の視点で教育を進めていくのが大事であると話されていた。本市の児童数減少に歯止めをかけるためにも、小中一貫教育の選択も考える時期に来ているのではないだろうか、一考を願う。

*中一ギャップ…小学校から中学校へ入学した際、それまでとの環境の変化についていけず、いじめが起きたり不登校になったりする現象。



担当の説明を聞く委員



堺市庁舎前にて

常任委員会の行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、各常任委員会が視察を行いました。その概要をお知らせいたします。

経済建設常任委員会 視察先：静岡県富士市、島田市(11/13～11/15)

【富士市：道の駅 ^{ふじかわらくさ} 富士川楽座について】

つがる柏インターチェンジから鱒ヶ沢道路につながる柏浮田道路が事業化され、来年度からは本格的な用地買収に入る予定となっている。高規格道路には農産物流通の拡大や観光客の増加、救急病院へのアクセス時間短縮などの効果が見込まれ、関連する交通施設は休憩、情報発信、地域の連携機能をあわせ持ち、地域活性化の効果が期待できる。

富士川楽座は東名高速道路と一般道路を連結した道の駅で、富士山と富士川を目前に構える立地の良さが魅力のひとつにもなっている。また、ほかの施設との差別化を図るため導入したプラネタリウムは、短時間での上映や人気声優がナレーションを担当する特別上映、小学校や子供会等への出張プラネタリウムなどを企画し、飽きずに何度でも楽しめるように随時内容を変えて取り組んでいるほか、物理や化学の体験館、食事処、農産物直売所、展望ラウンジなど各施設も充実しており、年間380万人の来館者が訪れている。

富士市の指定管理者である富士川まちづくり株式会社ではNEXCOの都会的なイメージと反して、あえて素朴で親しみやすい環境を提供しながら新しいものを取り入れていると話されており、通過点ではなく、目的地として訪れたいような仕掛けをしていることが利用者の向上につながっていると感じた。

人口減少が加速する中で地域を活性化させるには、地域間のつながりを大切にしながら子どもから大人まで利用できるような場所を提供し、多様なニーズに応える企画力が重要であると感じた。当施設の常にお客様目線で取り組む姿勢には感心させられ、誠に有意義な視察であった。

【島田市：ふじのくに茶の都ミュージアムについて】

主要産業を活かした観光施設は歴史や文化を発信させるだけでなく、農業振興や観光振興への活性化が期待できる。茶業の振興策として島田市が運営していたお茶の郷博物館は静岡県に移管され、ふじのくに茶の都ミュージアムとして平成30年にリニューアルした。

当施設は元々お茶の郷博物館にあった優れた展示品や茶室、庭園を残しつつ、新しい手法でお茶の魅力を紹介している。例えば、お茶の新時代と称したコーナーではデジタル技術を活用したお茶の紹介をしており、デジタル画面の前に立って自分の体について気になる項目（メタボ、アレルギー体質など）を選択すると、その項目に合わせたおすすめのお茶が紹介される。そのほか、お茶から抽出したアロマも体験できて、お茶の特性や機能性について楽しく知ることができる。このような施設は地域の子どもたちにも産業について関心を持ってもらえるほか、新規就農者などの育成の場としても活用できる。また、産業関係者と連携することで様々なアイデアが創出されて産業の活性化が図られていくのだと感じた。本市ではどのようなアプローチができるだろうかと考えさせられ、課題は多いが非常に実りある視察となった。



富士川楽座前にて



世界中のお茶が展示



展望テラスから見た庭園
晴天時は富士山が眺められる

基地対策特別委員会

防衛省および総務省、 東北防衛局へ要望活動

10月28、29日の両日、平川豊議長、山本清秋基地対策特別委員会委員長は福島弘芳市長とともに要望活動を実施しました。今回は、航空自衛隊車力分屯基地およびXバンドレーダーが配備されている米陸軍車力通信所が所在する本市としての財政事情への影響を十分に認識してもらい、市民生活の一層の向上が図られるよう次の三点について要望しました。

①基地交付金、調整交付金の予算配分の増額 ②民生安定事業補助金の補助対象項目の拡大、採択基準の緩和 ③米陸軍車力通信所の土地取得に係る代替道路整備の予算確保について

これらの要望に対し、防衛省および東北防衛局の所見として、民生安定事業補助金については対象施設を拡大してきている状況である。まずは備蓄倉庫、ヘリポート整備予算の確保が第一だと考えており、つがる市の要望には協力して進めていきたい。また、代替道路整備についても関係省庁との調整を図りながら順次進めていきたい。との回答を頂きました。今後も本委員会では基地所在地としての諸問題を引き続き調査・研究し、積極的に活動してまいります。



山本防衛副大臣へ要望書手交



要望内容を説明する市長

指定管理者指定の件

議案番号	管理を行わせる公の施設の名称	指定管理者となる団体の名称	指定期間
67号	つがる市木造農村環境改善センター	公益社団法人 つがる市シルバー人材センター	令和2年4月1日から 令和5年3月31日まで
70号	つがる市ひなた児童会館、 つがる市木造地域子育て支援センター	社会福祉法人 緑会	令和2年4月1日から 令和5年3月31日まで

請願



現地調査する委員

請願番号	提出者	件名	委員会の意見・結果	結果
1号	社会福祉法人健誠会 理事長 小林 澄雄	市道の側溝設置に関する請願書	(経済建設常任委員会付託) 地域住民が安全に通行できるようにするため整備は必要であるとの見解から採択すべき	採択

6年生一般質問を傍聴

議会は手続き不要で、どなたでも傍聴できます。
定例会日程については、ホームページをご覧ください
ただか、議会事務局にお問い合わせください。

12月5日、向陽小学校（校長 笹 慎）6年生55名が一般質問を傍聴しました。
社会科校外学習の一環として実施されたもので、2班で構成された児童たちは、第1席と第2席の
質問に熱心に耳を傾けていました。
児童からの感想文を一部ご紹介します。



傍聴のルールに従い、
静かに聞いている子どもたち



市議会をぼう聴して 6年1組 佐藤 修優さん

ぼくは、つがる市議会のぼう聴を通して、つがる市の議員の人達がつがる市のために会議を行っていることがよく分かりました。ぼく達は、防犯カメラの設置についての話を聞くことができました。子供達の安全のために、真剣に話し合っていました。行く前は、ぼく達にはあまり関係のない話をしていると思っていたけれど、ぼく達子供にとっても身近な話をしていることが分かりました。

ぼく達も、もっと真剣に学校のことについて話し合わなければならないと思いました。



子どもたちにも分かりやすい
身近な質問が出ました



市議会をぼう聴して 6年2組 対馬 康太郎さん

ぼくは、初めて市議会をぼう聴して、つがる市を安全にするため、真剣に議員の方たちは考えていると知りました。今回の話し合いは「木が交通のじゃまをしているからどうすれば良いか」というものでした。たった一本の木なのに、そんなことが議題に出ているから、安全に対する意識が高くて、とても心強く感じました。

今、ぼく達が安全につがる市で暮らしているのは、つがる市のことを真剣に思う人がいるからだと思います。だから、ぼくも見習っているいろいろな課題に真剣に取り組もうと感じました。

行政視察受け入れ ～ようこそつがる市へ～

【米軍Xバンドレーダー配備について】

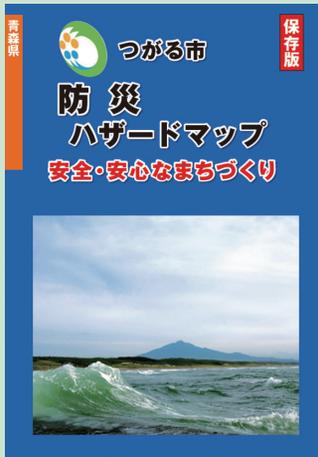
令和元年11月12日、
京都府京丹後市議会（会派、4人）

京丹後市ではつがる市に次いで全国で2例目となるXバンドレーダーが配備されており、視察では事業実施に至った経緯や課題など担当者が説明し、活発な意見交換が行われました。



京丹後市議会の皆さん

「つがる市防災ハザードマップ」



事前に確認しておくことで
命を守ることに繋がります

市では、避難所や災害が起こりうる可能性のある場所を地図上に可視化したつがる市防災ハザードマップを作成しています。

さまざまな災害に対する日ごろの心構えや予測不可能な災害を最小限にとどめられるようにイラストなどで分かりやすく説明しており、自宅が浸水想定区域かどうかなど事前に知ることができます。

また、自宅近隣の避難所などを知っておくことで、実際災害が発生したときにどこへ避難すれば良いのか、どこで家族や知り合いと待ち合わせれば良いのかなど対策を立てることができます。

ハザードマップはつがる市ホームページからダウンロードできます。
詳しくは総務課にお問い合わせください。

つがる市ハザードマップ

検索



これまでの議会の活動の一部を紹介します

11月	5日~7日	教育民生常任委員会行政視察（大阪府、奈良県）
	8日	青森県市議会議長会定期総会（十和田市）
	13日~15日	経済建設常任委員会行政視察（静岡県）
	14日	地方議会活性化シンポジウム2019（東京都）
	18日	知事を囲む懇談会（青森市）
	23日~24日	つがるブランドPR活動（東京都町田市）
	26日	議会運営委員会
12月	2日	令和元年第3回つがる市議会定例会開会
	5日	定例会一般質問
	9日	予算特別委員会
	10日	総務常任委員会、経済建設常任委員会
	12日	令和元年第3回つがる市議会定例会閉会
1月	22日	市議会だより編集委員会
	29日	全国市議会議長会基地協議会定期総会（東京都）
	31日	議員全員協議会

議会中継を ご覧いただけます。

本会議などの様子をインターネットで中継（ライブ中継、録画中継）しています。



つがる市議会 インターネット中継

検索

議会は手続き不要でどなたでも
傍聴できます

次回定例会予定

3月

詳しくはホームページをご覧ください
だくか議会事務局
にお問い合わせください。



こちら編集室

早いもので、新元号の令和も2年目となりました。今冬は今のところ小雪で家の除雪は楽ですが、運動不足に陥っているところですね。近年は、毎年のように全国各地で大規模な自然災害が発生しております。昨年も台風による強風と大雨で大きな被害が発生しました。「天災は忘れた頃にやってくる」の言葉を残した、明治生まれの物理学者寺田寅彦さんも、存命であれば頻繁に発生する大災害に言葉を訂正されたかもしれません。

幸いなことに、つがる市では合併以来大きな災害は発生しておりません。「備えあれば憂いなし」の備えが必要かと思えます。新年にあたり平穏な一年であることを願うものです。

（野呂 司 記）

■市議会だより

編集委員会
委員長 長谷川榮子
副委員長 伊藤良二
委員 佐々木直光
委員 野呂渡司
委員 齊藤幸
委員 秋田谷建幸